

はじめに

先ごろ発表された「第 61 回学校読書調査」（毎日新聞社と全国学校図書館協議会が合同で実施）の概要報告によると、全国の小中学生の読書冊数は過去 20 年間で倍近く増加しています。これは、平成 13 年に制定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」をうけて各地方自治体で「子ども読書活動推進計画」が策定され、全校あげての取組みが各地で行われるようになってきた結果であると、分析されています。

当町においても、平成 17 年 5 月に『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2005』を、さらに平成 23 年 3 月に『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2010』を策定いたしました。また、平成 32 年を目標年次とする「第 4 次斑鳩町総合計画」でも、基本施策の一つ「文化の香り高く心豊かなまちづくり」の中で、子どもの読書活動推進に取り組んでおります。

今回、『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2010』から 5 年が経過したことから、前回以降の町内各団体の取組みの成果と、継続中の課題を盛り込み、新たに『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2015』としてまとめました。

この 10 年で、当町の子どもたちの読書環境も大きく変わりました。町内の読書支援グループ、幼稚園・保育園・学校と町立図書館の連携がすすんだこと、図書館から各施設への団体貸出の増加、町内各小学校での「えほんのひろば」活動の浸透などがそれにあたります。また、ブックスタートの実施や学校における読書支援ボランティアの活動も定着してまいりましたが、これも、読書支援ボランティアの皆様の温かいご支援のおかげと感謝いたしております。

さらに当町では平成 25 年度より、町内の小・中学校に学校司書を配置いたしました。司書教諭と学校司書の連携による学校図書館の活性化は、各学校の現況報告にも表れています。

このような活動に支えられた子どもたちの豊かな読書体験は、子どもたち自身の生きる力の基礎となり、さらには明日の斑鳩町を支えていくものと確信いたしております。

最後になりましたが、本報告書作成にあたりご協力いただきました多数の方々には心より厚くお礼申し上げます。

平成 28 年 3 月 31 日

斑鳩町教育委員会
教育長 清水建也

『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2015』

— 「推進計画 2010」の成果と課題の報告書—

■ 本報告書作成の趣旨

平成 17 年 5 月策定の『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2005』から 10 年、さらに平成 23 年 3 月策定の『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2010』から 5 年が経過いたしました。

『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2015』では、この間に地域グループ、学校・幼稚園・保育園および町立図書館が一体となって取り組んできた諸活動の具体的な内容とその成果、また計画推進にあたり協力していただいた、多数の方々との意見交換の中から出された前向きな意見を、新たな課題と受け止め、改めて「推進計画 2010 の成果と課題」としてまとめました。

■ 『斑鳩町子ども読書活動推進計画』の基本テーマ

『読書は心と心、人と人をつなぐもの』

一般的に読書といえば著者と読者との対話といわれ、言葉を学び、未知の世界を知り、想像力を高め、感性を磨くという効果がありますが、子どもの場合、本を通して親や子どもたち同士のふれあい、いわば心と心、人と人をつなぐ手段にもなります。実際に本を手には、子どもたちと直接ふれあう家族、学校の先生、地域の読書グループ、図書館などでは、子どもたちが読書をしている姿を通して、そのことを強く感じる場合が多いのではないのでしょうか。斑鳩町では、家庭、学校、地域、図書館が、ひとつの輪になるよう連携・協力しあって、子どもの読書に関心を持ち、子どもたちに良い読書習慣と環境を用意するために努力していきます。

■ 推進計画 2015 の対象年齢

『推進計画 2015』の計画実施対象年齢は、引き続き 0 歳から 15 歳までとします。

■ 推進計画 2015 の基本的な考え方

2005年版、2010年版の基本方針を継承するとともに、「推進計画 2015 の主な施策」に沿いながら進めます。また、計画内容の検討や調整が生じた場合は、斑鳩町立図書館協議会にはかりながら、町立図書館、地域グループ、校・園との連絡会の中で協議を行っていきます。

■ 推進計画 2015 の主な施策

I 読書に親しむ機会の充実

家庭、地域、小・中学校、幼稚園、保育園、町立図書館を通して、子どもたちに読書に親しむ機会をもたせる

II 読書環境、資料の充実・整備

学校図書館、町立図書館・公民館図書室における読書環境、資料の充実・整備に取り組む

III 連携・協力

この計画実施にあたって地域、学校、幼稚園・保育園、町立図書館が連携および協力体制を密にする

I 読書に親しむ機会の充実

家庭、地域、小・中学校、幼稚園、保育園、町立図書館を通して、子どもたちに読書に親しむ機会をもたせる

【家庭、地域における読書の推進】

幼児期には、耳から入る言葉が言語能力を伸ばし、読書の基礎を作っていくと考えられています。お父さんやお母さんらが、絵本などを読んであげることとはとても大切なことです。絵本の世界を十分楽しんだ子どもは、つぎの読書の段階へと進んでいきます。この時期には読書を無理に勉強と結びつけず、保護者自身も本を楽しみ、それを子どもに伝えていくようにしたいものです。

子どもの読書に関わるボランティアグループは、お互いに連絡を取り合い、図書館、学校、地域の集会施設などを利用しながら、活動の範囲を積極的に広げていく必要があります。

【学校・幼稚園・保育園における読書の推進】

学校では、児童・生徒がくつろいで読書ができるよう、学校図書館における読書環境づくりを行います。書架案内に工夫をこらし、推薦図書コーナー、図書展示コーナーを設けるなど、学校図書館が有効に活用されるよう努力してい

きます。司書教諭・学校司書および他の教職員、ボランティアの各位が連携・協力しあって、図書室の計画的利用に努めます。特に中学校では図書室の「常時開室」をめざしていきます。その他、司書教諭・学校司書および他の教職員が協力して読書指導をすすめます。児童・生徒に本を読む楽しみを知ってもらうために、「朝の読書」や国語の授業時間に教諭が児童・生徒に読み聞かせや朗読を行うなど、学校全体および学年・学級単位での読書指導の取組みに工夫を持たせていきます。

また、幼稚園・保育園では、教諭や保育士が季節や行事にあった絵本や紙芝居を読み聞かせるなど、子どもたちが読書に親しむ機会を作ります。

【町立図書館・公民館図書室での取組み】

町立図書館・公民館図書室では、子どもたちがいつでも読書を楽しむことができる空間と、読みたい本を自由に手にする環境づくりに努めます。

職員は、児童書についての幅広い知識と子どもの発達段階に応じた本を選択し読書指導の技術を会得するために、常に自己研鑽に努めるとともに組織的な研修を受ける必要があります。

また、ブックスタート・おはなし会・えほんのひろば・ストーリーテリングや図書展示など諸行事を行い、子どもたちが本に親しみ出会える機会を数多く提供するとともに、おすすめの本や成長段階別の絵本などのブックリストを作成し、関係者の子どもの本の選書支援も行います。

II 読書環境、資料の充実・整備

学校図書館、町立図書館・公民館図書室における読書環境、資料の充実・整備に取り組む

【学校図書館資料の充実】

学校図書館では、子どもたちの興味や関心に応え、各カリキュラムを支援するため計画的な蔵書の充実が重要です。特に調べ学習での利用が大きな比重を占めるため、図書資料の新鮮度が求められます。そのための図書購入費を継続して確保するよう努めていきます。

また、古い図書資料を適切に除籍し、情報の正確さ・新鮮度を保つ必要があります。そのことは自然科学や人文社会科学分野などの諸事象を子どもたちに正確に伝えることにもつながります。

そして急速に進化する情報化時代において子どもたちが自由に情報を検索で

き、学習に役立つ情報を得られるように、学校図書館で新規に受け入れた資料のデータ登録を行い、資料管理を円滑に行っていきます。

【町立図書館・公民館図書室での取組み】

子どもたちにとって魅力のある絵本、読みものの充実に努め、利用の多い児童書については複本を購入します。調べ学習用図書については、学校のカリキュラムに対応した本を、内容・レイアウト等を多方面にわたって検討のうえ購入します。

また、学校図書館、幼稚園、保育園の読書活動を支援するため、図書を団体貸出するとともに、その配送を町立図書館が行います。

III 連携・協力

この計画実施にあたって地域、学校、幼稚園・保育園、町立図書館が連携および協力体制を密にする

【子ども読書推進についての連絡会の開催】

町立図書館では「推進計画 2005」策定を機に 3 小学校、2 中学校と連絡会を開催し、資料の選定・収集、保管・管理などについて研究協議を行ってきました。また、地域読書グループとの定例会を開き、子どもの読書についての情報交換を行っています。

今後も地域グループ、学校・幼稚園・保育園、町立図書館の三者間で定期的に連絡会を開催し調べ学習の課題や出版流通事情等、子どもの読書についての諸情報を共有するとともに、斑鳩町の子どもたちの読書推進について協議を行います。また、町立図書館は、図書資料の収集・整理・保存等のノウハウを各学校図書館へ提供します。

子ども読書推進には地域グループや学校の図書ボランティアを中心とした読書支援ボランティアの協力が不可欠であり、ボランティアの輪を大きくする必要にも迫られています。

町立図書館では、この読書支援ボランティア育成の講座を積極的に開催し、人材育成に努めていきます。また、町立図書館からの地域・家庭に対する子ども読書活動広報は、斑鳩町広報「いかるが」の「図書館だより」や図書館ホームページなどにより啓発活動に努めます。

■ 5年のあゆみ

『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2010』を策定した平成 22 年度から、地域・学校・図書館等の協力体制で取り組んできました読書活動推進事業をご報告します。

◇平成 22 年度

3 月、『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2010』発行。

◇平成 23 年度

—

◇平成 24 年度

町立図書館の旧 AV ルームを、おはなし会等の行事に使える多目的室に改修。

◇平成 25 年度

町内小・中学校図書室に学校司書配置。

(3 小学校兼務 1 名・2 中学校兼務 1 名で計 2 名)

◇平成 26 年度

—

◇平成 27 年度

町内小・中学校図書室の蔵書点検を行う。

(平成 20 年度の図書のデータ化以降初)

◇平成 22～27 年度

「えほんのひろば」の 3 小学校への浸透。

■ 斑鳩町における子ども読書活動の現状

【地域読書グループ】

◆おはなしさんぽ

(昭和 58 年設立・8 名)



月 1 回の定例会を通して会員同士の情報交換を行い、新しい知識や講座などの情報を得ている。さらに互いに刺激を得たり与えたりして、マンネリに陥らないようリフレッシュを旨としている。また、絵本を読み合っの学習や、人形劇の練習と制作などの諸活動を行っている。

図書館で月 1 回、土曜日に「おはなし会」をしている。これは、図書館に相談しつつ選書から運営まで全面的に任されているもので、意欲を持って取り組んでいる。他に「学校おはなし訪問」「ブックスタート」等、図書館の行事へ協力している。一方、図書館を媒介として、保育園に公演に行き、人形劇や紙芝居、パネルシアター等も上演している。新人の会員もなく、各人が体力の衰えを自覚し、活動範囲の限界を思い知らされるこの頃である。しかし、年を重ねるにつれ、幼児の笑顔や絵本の素晴らしさに、今更ながら感動している自分に気づく日々でもある。

子どもたちに接する機会を与えられている喜びを良しとして、会の自主活動、並びに図書館のお手伝いを、できる限りしていけたら、喜ばしい限りである。

◆人形劇ゴロゴロ

(平成 4 年設立・7 名)

平成 25 年度まで、町内公民館図書室の運営をはじめ、幅広く子どもの読書活動に取り組んできた斑鳩町読書研究会から派生し、毎年読書研究会のメンバーと保育園で人形劇を上演している。公民館まつり(中央公民館)、保育園や幼稚園で上演しているほか、奈良人形劇協議会主催のミニフェスタや奈良市の「わらべうたフェスタ」にも参加している。その関係で、奈良市立幼稚園から多数上演の要望をいただき、子どもたちと楽しい時間を過ごしている。



◆ひこはな絵本の会

(平成5年設立・5名)

「水曜日のおはなし会」(場所：町立図書館。0～3歳の子どもたちが対象)

このようなおはなし会では、読み聞かせの意義を意識している。

言葉の持つ空気感(音や響き)を意識し、絵本を交えて、子どもたちが楽しく言葉を発することができるよう、選書に気をつけている。また、お母さんと子どもと一緒に楽しめる絵本も1冊は読む。大人が本を愉しむ態度があると、子どもも本に親しめるのではと感じている。



「東小学校でのおはなし会」(場所：斑鳩東小学校各教室)

一番に感じることは「子どもは本を読んでもらうのが好き」ということ。子どもも大人も本が心の栄養なのでしょう。児童からのプレゼントカードには自分の言葉で絵本の感想、要望が書いてあり、その中で多いのは「本が好きになった」という言葉。おはなし会ボランティアと共に、絵本の勉強会を実施。図書館の講座、町外の講座もおはなし会ボランティアに声掛けし、一緒に楽しんでいる。他に、町立図書館の「学校おはなし訪問」「えほんのひろば」「ブックスタート」にも協力している。

◆斑鳩おはなしの会

(平成18年設立・13名)

図書館主催「おはなしの語り手養成講座」の受講生が講座終了後に自主グループを結成。講師を招いて隔月でストーリーテリングの勉強を続けている。町外のグループの発表会、講座にも参加している。



公民館で開催している年1回の発表会「ろうそくのおはなし会」には、小学生から80代までの方が、町内外から聞きに来てくださり、毎年楽しみにしてくれている方もいる。

高校・地域の福祉会の依頼で出張「おはなし会」を開いている。高校生も年配の方も熱心に聞いてくださり、年齢に関係なく一緒に楽しい時間をすごしている。覚え、語ることは大変だが「おはなし」の持つ魅力を改めて感じさせられたりしている。

図書館行事の協力は、学校おはなし訪問(年1回)のほか、平成27年度か

ら、図書館で春・夏・冬の年3回程度、子ども対象のおはなし会を開いている。



◆斑鳩町図書室研究会
(平成26年設立・9名)

中央公民館図書室でのおはなし会(乳幼児向け)には毎回1組あるいは2組の親子が参加してくれる。保護者にも楽しんでいただき、また、保護者や子どもから教えていただく事も多く、たいへん勉強になっている。

◆おはなしのとびら
(平成13年設立・9名)

地域の集会所での文庫活動の他、学校や保育園での読み聞かせ、図書館の行事への協力などの活動をしています。

絵本には文字では表現できないたくさんの言葉があります。

お父さん、お母さんと一緒に読んでいる時間のぬくもりは、パソコンやスマートフォン、ゲーム機よりも大切な「一生の心の宝物」になるでしょう。

そのような子どもたちの成長が私たちの喜びです。



【学校・園】



◆斑鳩幼稚園

子どもの年齢・興味・季節・行事等に合わせ、毎日1冊の絵本や紙芝居の読み聞かせを行っている。

また、保育雑誌にのっている新刊本・人気の絵本を調べ、図書館に問い合わせたりして保育に生かしており、結果子どもたちは、絵本が大好きになってきていると感じる。

さらに、絵本で印象に残った場面を絵や身体で表現する活動もしている。絵本・紙芝居等に親しむことが日常のものになっている事がうれしい。

今後は、地域の読書ボランティアの受入れや、子どもたち自身が図書館に向いて読み聞かせを聞く機会が持てるように、年間計画に取り入れ定着させていきたい。



◆斑鳩西幼稚園

教師が日常的に絵本や紙芝居等の読み聞かせを行っている。子どもたちが絵本を手に取りやすい場所に絵本コーナーを設けることで、自由に好きな本を読んでいる。子どもと一緒に図書館に行き、沢山の絵本にふれたり、読み聞かせをしてもらったりしたいと考えているが、図書館までは距離があり、実践できていな

いのが現状である。



◆斑鳩東幼稚園

現在、幼小交流の一環として年1回11月頃近隣の小学校で開かれる「えほんのひろば」に参加している。部屋一面に置かれているさまざまな絵本や小学校のお兄さん、お姉さんに読んでもらうことが嬉しいようで、毎年楽しみにしている。また、普段の保育では幼稚園に置いてある絵本や紙芝居、図書館からのリユース本、貸出本などの中から遊びや季節、保育内容に合ったものを利用している。年中児になると、草花や虫に興味・関心が出始め、図鑑をよく手にしている姿がある。



◆法隆寺幼稚園

日々の保育活動を通して、絵本や紙芝居に触れ、読み聞かせも積極的に行っている。さらに、図書館からの貸出本を利用したり、図書館訪問を行い、より図書に触れる機会をつくっている。また、読み聞かせグループの方に来ていただき、4歳児は毎週楽しい時間を過ごしている。

月刊の絵本も活用し、日ごろより季節に応じたおはなしにふれることにより、図書を身近に感じられるようにしている。



◆あわ保育園

町立図書館からの団体貸出本を活用し、日常的に園児たちに読み聞かせをしている他、以下のことを積極的に行っている。

- ・0～2歳児：年1回、ボランティアグループによる人形劇を楽しんでいる。
- ・3歳児：町立図書館に月1回出向き、司書の読み聞かせを楽しんでいる。
- ・4～5歳児：町立図書館に月1回出向いた際、読み聞かせに加え、本を借りて持ち帰り、楽しんでいる。
- ・斑鳩東小学校の「えほんのくに」で小学生と絵本を通じた交流を持っている。
- ・0～2歳児を対象に取り組んでいた「あかちゃん絵本広場」（図書館から絵本を借りて0～2歳児に貸出）は、平成27年度から、借りた本を園で保管し、保育士が保育活動に利用する現在のスタイルに変更した。
- ・年間図書予算が確保できない中、平成27年度より各家庭で眠っている絵本を園で集め、リユース本として各クラスで活用する「絵本リサイクル」を始めた。

◆たつた保育園

地域との交流を深めながら、次のような読書活動をしている。

- ・0～2歳児：地域グループの人形劇を図書館から紹介してもらい、保育園の遊戯室で鑑賞している。
- ・4～5歳児：公民館図書室を定期的に利用し、絵本を借りて、読書に親しんでいる。また、西小学校に行き、小学校1年生と「えほんのくに」で交流し、読書に親しんでいる。
- ・図書館の団体貸出本も利用している。0～2歳児用貸出本（各保育室に保管）・全年齢向けおすすめセット（会議室に保管）を、保育士が選んで子どもに読み聞かせ、活用している。図書館のリユース本も保育で活用している。



◆斑鳩黎明保育園



園児の読書活動を豊かにするため、平成 27 年 9 月から「こんぶ文庫」と命名し、園オリジナルの文庫を始めた。現在約 500 冊の絵本や図鑑を所蔵し、園児に貸出を行っている。2 ヶ月足らずで累計 300 冊の貸出があった。保育時間内においても、紙芝居や絵本の読み聞かせを行っている。

また、毎月月刊絵本を購入し、保育教材として使用している。



◆斑鳩小学校

本校では、毎日昼休みに図書室を開けて図書委員による貸出・返却を行っている。学級では朝の 15 分間を週に 3 回読書の時間とし、読書活動に取り組んでいる。

また、学校ボランティア「メロンパン」に図書の整理・修理や図書室の環境整備、月 2 回水曜日昼休みに読み聞かせ等の活動をしていただいている。

本の選書は教師だけでなく図書委員も行うことで、児童も興味を持ち、学習にもつながる本を購入できるよう配慮している。

平成 26 年度には図書室の本の並び替えを大々的に行い、使いやすい図書室を目指した。「えほんのひろば」についても毎年ではないが、実施している。



◆斑鳩西小学校

図書室は毎日、業間・昼休みに開室している。朝の読書は毎日 15 分間。学年に応じた中古本を PTA からの補助金で購入、学年文庫として充実させ利用している。

全学年、週 1 時間図書の時間があり、低・中学年は読書に、高学年は社会や総合の調べ学習に図書室を利用している。

ボランティアの方々には本の補修や新刊の受け入れ、壁面掲示、朝読タイムや昼休みのお話会をしていただいている。

また図書委員の読み聞かせや、読書クイズ、教職員のおすすめ本紹介、学校

司書によるブックトークや図書室便りの発行、面展台上に並べた絵本を読みあう「えほんのくに」(P17 参照)での幼稚園児との交流等、さまざまな読書活動を行っている。



◆斑鳩東小学校

本を探しやすいように並べ替えたり季節感を取り入れた掲示物を作ったりするなど、図書室の読書環境整備に努めている。

朝の読書タイムや図書の時間に、読書記録カードを取り入れながら、読書に取り組んでいる。社会科や総合の調べ学習でも、

図書室の本をよく活用している。

図書委員会では、低学年への読み聞かせや読書クイズ、おすすめ本の紹介などの活動をしている。「えほんのくに」を開催し、多くの本との出会いやさまざまな人との交流を図っている。

毎週火曜日の朝の読書の時間に、ボランティアの方たちにおはなし会をしてもらっている。ボランティアの人数も増え、読み聞かせの対象が6年生までに広がっている。

コラム 学校図書館司書の仕事①

—小学校に司書教諭が配置されて—

- ・子どもたちにとっては、本に関するさまざまな質問に答えてもらったり、一緒に本を読み合ったりできるようになった。
- ・図書ボランティアと学校側との連絡が密にとれるようになった。司書教諭と学校司書とで選書の相談をし、より子どもの要望にあった本を選ぶことができるようになった。
- ・新刊の登録や装備が早くできるようになった。

田辺瞳 (斑鳩小学校司書教諭)

渡邊千賀子 (斑鳩西小学校司書教諭)

賀須井節子 (斑鳩東小学校司書教諭)

—小学校の学校図書館司書として配属されて—

小学校の学校図書館司書としての願いは、一人でも多くの子どもに本を読む楽しさを知ってほしいということです。学校図書館は、本が好き・好きでないに関係なく、本にふれる機会がある場所です。本好きになれる可能性がある場所です。そこで本と子どもをつなぐ橋渡しの役目をしたいと考えています。

まずは本との出会いのきっかけを作ることを心がけています。取組みとして、図書室内に季節やテーマにそった本の掲示、図書の時間内での本の紹介や読み聞かせ、調べ学習の資料探しのお手伝い等が挙げられます。

また、学校の先生方のサポートとして授業に関連した資料準備のお手伝い、子どもたちからの本に対する要望のとりまとめ等を行っています。他には学校ボランティアの方々と学校との間をつなぐ役割の一端を担っています。

いずれも、子どもたちが本により親しめる環境作り、という点で繋がっていると思います。3校兼務で行き届かない点もありますが、関係各所と連携していくことが肝要だと感じています。

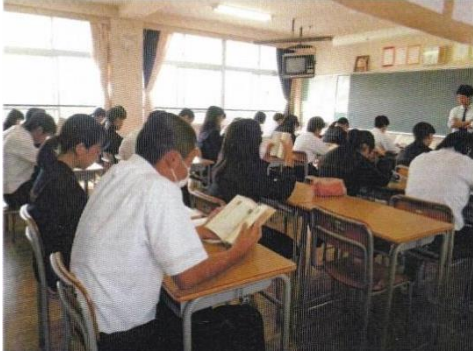
中里弘恵（学校図書館司書／斑鳩小学校・斑鳩西小学校・
斑鳩東小学校兼務）



◆斑鳩中学校

図書室は、図書委員、図書室担当教諭（担任外の先生）、学校司書も一緒になって、昼休みと放課後に必ず開館している。学級文庫はコンテナに入れ、定期的に入れ替えをしている。図書委員に熱心な生徒が多く、それぞれ「おすすめの本」の紹介文を書き、図書館だより順次掲載している。学校司書の先生

も授業や行事に因んだ特集を組み、関連図書を展示している。読書をすすめる環境は充実しているが、平成27年度から、朝読書の時間がなくなったり、減ったりしているのが非常に残念であり、今後の課題である。



◆斑鳩南中学校

毎日昼休みと火・木曜の放課後に、図書委員と司書教諭、図書担当教諭、学校司書で開室を行っている。平成 25 年度から学校司書が配置され、本の整備や展示などが以前より工夫できるようになった。図書室前の掲示物の工夫や、図書だよりの発行により、利用者は増加している。そのほか、調べ学習や、国語科の授業での図書室利用もあるが、インターネットでの調べ学習と併用することも多いので、図書室からコンピュータ室へ本を運んで利用している。また、以前から継続して行っている朝の 10 分間読書では、自分で用意した本を読んでいることが多く、休み時間もすすんで読書している姿が見られる。

コラム 学校図書館司書の仕事②

—中学校に司書教諭が配置されて—

平成 25 年度から学校司書が配置され、図書室の運営を専任でもらえるため、さまざまな図書館業務が活性化してきた。図書委員と密につながってもらえるため、図書通信の発行回数が増え、生徒の好む本がよくわかり、選書にも役立っている。また、各教科の授業内容・年中行事などについての特集や、利用しやすいレイアウトも工夫してもらっている。何よりも、新刊の登録や装備が早くでき、蔵書管理がきちんとできるようになったことが有り難い。2 中学校兼任の勤務であるが、毎日でも来ていただきたい。

中西昌代 (斑鳩中学校司書教諭)

渡邊真梨亜 (斑鳩南中学校司書教諭)

—中学校の学校図書館司書として配属されて—

学校図書館司書として 2 つの中学校に配置された時、図書室内の図書の並べ替えをまず初めに行い、どこにどんな分野の図書があるかわかるように整備、書架サインを作り、館内案内図を作成しました。

図書委員には、主に貸出・返却の手続きをしてもらい、ポスター掲示やその時期に応じた特集、おすすめの本コーナーなどを設置してもらっています。

また、町立図書館の協力により、中学生向きの図書やリクエスト本の提供を受け、授業などにも活用しています。

斑鳩南中学校では、ボランティアの方に新しい図書の受入装備や配架などをお手伝いいただいています。

2校兼務のため、各校での予約や返却本の手続きなどは、担当の先生方をお願いすることが多いです。

昼休み、放課後以外も常時開室を目指したいですが、勤務が隔日のため難しいことが残念です。

前川伸子（学校図書館司書／斑鳩中学校・斑鳩南中学校兼務）

【町立図書館】

◆学校との連携

◇ 地域、校・園、町立図書館間の連絡会の開催

『推進計画 2005』策定を機に地域読書グループ、小・中学校、幼稚園・保育園、町立図書館間での連絡会を定例化した。その内容は子どもの読書や総合学習にともなう学校と図書館の情報交換、学校、幼稚園・保育園への団体貸出本の内容などである。

◇ 小・中学校、幼稚園・保育園に対する大量貸出

『推進計画 2005』の実施目標の主なもののひとつに、校・園に対する図書館資料の大量貸出がある。貸出図書の内容、図書の集配、貸出期間などの問題を校・園連絡会で協議を行い、平成18年度から実施している。

各校・園間を1カ月の間隔で巡回し、1回の貸出冊数は60～80冊である。

◇ 諸事業の開催

上記の他、学校との連携事業としては、小学校3年生の「図書館見学」（遠足・社会科見学時）と、それに答礼する形での「学校おはなし訪問」（小学校3年生対象）がある。「学校おはなし訪問」は読書支援ボランティアの協力と学校側の要望で継続している。内容は絵本の読み聞かせとストーリーテリングやブックトークで、小学校のカリキュラムの時間内で行っている。

このほか、中学生の職場体験学習の受入等を行っている。

◆幼稚園・保育園との連携

幼稚園・保育園に対しては、図書の大量貸出の他に、来館した園児への絵本の読み聞かせを行っている。あわ保育園が毎月、町立図書館を利用しているほか、年に1回、法隆寺幼稚園の図書館訪問にも対応している。この他、たつた保育園・斑鳩幼稚園の園児も中央公民館図書室での読み聞かせを楽しんでいる。

◆読書支援ボランティアとの連携

◇ 読書支援ボランティアと図書館の協働

子ども読書推進活動にかかわる読書支援ボランティアは現在 6 地域読書グループを中心に約 45 名。この方々は、それぞれの地域で独自の活動を展開するとともに、町立図書館児童サービス支援を積極的に行っている。具体的には、「ブックスタート」「学校おはなし訪問」「えほんのひろば」「おはなし会」等がある。

◆その他

◇ 「おはなし会」の開催

読書支援ボランティアの協力のもと実施している。現在、「水曜日のおはなし会」（乳幼児中心・ひこはな絵本の会）、「土曜日のおはなし会」（幼児～小学生中心・おはなしさんぽ）を毎月開催しているほか、年3回程度、斑鳩おはなしの会によるストーリーテリングのおはなし会も行っている。

◇ 「えほんのひろば」の定着

手づくりの絵本平置き台を会場に複数台配置し、子ども同士・子どもと大人、あるいは大人同士が一对一で絵本を読みあう催しが「えほんのひろば」である。

平成19年度以降、町立図書館で開催し、大人のボランティアと小中学生が、図書館・町内保育園で小さな子どもたちと共に絵本を楽しんできた。その後この催しが町内に広まり、現在では各小学校の先生方のご尽力のもと、「えほんのひろば」（えほんのくに）が実施され、小学生と幼稚園児、保育園児たちが絵本を楽しんでいる。

町立図書館では、「えほんのひろば」用絵本（約300冊）と面展台を各小学校に貸出し町内での開催をサポートするほか、夏休みにボランティアの協力を得て「えほんのひろば」を開催している。



◇ ブックスタートの実施

ブックスタートの趣旨は「地域のすべての赤ちゃんと保護者に絵本を手渡す」という活動で、斑鳩町では平成 15 年度から保健センターでこの事業を始め、平成 19 年 9 月からは図書館で実施している。

斑鳩町で毎年誕生する赤ちゃんは、ここ数年は約 200 人で推移している。ブックスタート後の乳幼児（0～3 歳）に絵本とわらべうたを紹介するフォローアップ講座（25 年度から“親子で遊ぼ”に名称変更）も開催してきた。ブックスタートの参加率向上のため、平成 26 年度には他の図書館の視察等調査研究を行い、平成 27 年度からは“親子で遊ぼ”を福祉課の“子育て支援講座”に発展統合する代わりに、保健センターの 1 歳 6 か月児検診で、ブックスタートに参加できなかった親子を対象に絵本の後日配布を行っている。

◇ 1 日図書館員

夏休みの 2 日間、各日 10 名ずつで行っている。カウンター業務・図書の配架等を体験してもらうほか、おすすめの本の掲示づくりなどを行っている。小学校高学年に人気の本の把握にも役立っている。

■ 『推進計画 2010』 以降 解決した課題・継続中の課題

『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2010』の策定後、解決できた子ども読書推進課題と継続中の課題についてまとめました。

【解決した課題】

課題	改善・解消状況
学校司書の配置	平成 25 年度から学校司書が配置された。 (3 小学校兼務 1 名・2 中学校兼務 1 名で計 2 名)
学校図書館を通しての個人貸出、特に中学生	学校司書の配置により、学校図書館を通しての個人貸出が可能になった。
「読み聞かせ」から「読み合い」へ	町内 3 小学校への「えほんのひろば」が浸透。
町立図書館に中学生用のコーナーの設置	調べ学習室の利用が定着。
町立図書館にボランティア専用の部屋	平成 24 年度に旧 AV ルームを多目的室に改装、ボランティアの打ち合わせ等での使用が可能になった。
3 公民館への巡回車増便	従来の週 2 便を平成 24 年度から週 3 便に増便。

【継続中の課題】

- 個人ボランティアの充実
- ブックリスト（学齢前の児童向け）の作成

■ 『推進計画 2015』 協議経過

- 平成 27 年 2 月 27 日 第 38 回図書館協議会
 - ・『推進計画 2010』改訂を提案

- 平成 27 年 7 月 22 日 平成 27 年度第 1 回地域・学校・図書館三者連絡会議
 - ・前計画後 5 年間の取組みと『推進計画 2015』のイメージについて報告

- 平成 27 年 8 月 7 日 第 39 回図書館協議会
 - ・第 1 回地域・学校・図書館三者連絡会議報告

- 平成 27 年 10 月 29 日 平成 27 年度第 2 回地域・学校・図書館三者連絡会議
 - ・『推進計画 2015』の素案を策定

- 平成 27 年 12 月 18 日 第 40 回図書館協議会
 - ・『推進計画 2015(素案)』の基本方針および実施計画について協議

- 平成 28 年 1 月 25 日 平成 27 年度第 3 回地域・学校・図書館三者連絡会議
 - ・『推進計画 2015 (案)』により基本方針および実施計画について検討

- 平成 28 年 2 月 26 日 第 41 回図書館協議会
 - ・『推進計画 2015』最終案の審議

■ 報告書作成に協力いただいた方々

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(敬称略)

- 斑鳩町立図書館協議会
大山俊雄 山中世志子 賀須井節子 木村君子 角井一美 古川美智子
山上豊
- 地域読書グループ
崎谷利予・黒原みどり (おはなしさんぽ) 伊藤幸子 (人形劇ゴロゴロ)
山中世志子・岸本美穂 (ひこはな絵本の会) 加本清江・古川美智子 (斑鳩おはなしの会) 北山裕見子 (斑鳩町図書室研究会) 海保八恵子 (おはなしのとびら)
- 幼稚園・保育園
北吉実代 (斑鳩幼稚園) 佐本円 (斑鳩西幼稚園)
栗本三喜子・青木奈々子 (斑鳩東幼稚園)
米井啓実・遠山健・小畑八千代 (あわ保育園) 佐藤佳枝 (たつた保育園)
田中優子 (法隆寺幼稚園) 加志川千聖 (斑鳩黎明保育園)
- 小学校・中学校
田辺瞳・安井沙希 (斑鳩小学校) 渡邊千賀子 (斑鳩西小学校)
賀須井節子 (斑鳩東小学校) 中里弘恵 (小学校司書)
中西昌代 (斑鳩中学校) 渡辺真梨亜 (斑鳩南中学校)
前川伸子 (中学校司書)
- 高等学校
山本啓子 (法隆寺国際高等学校司書)
- 住民生活部・健康対策課
- 事務局
(教育委員会事務局)
清水建也 真弓啓 今田善友

(町立図書館)
竹口万五市 吉松赤穂 北岡亮子

附 属 資 料

— 図・表で見る 5 年間の成果 —

附属資料 1	斑鳩町子どもの読書推進活動 ネットワーク図……………	24
附属資料 2	町立図書館 児童サービス年齢別一覧……………	25
附属資料 3	町立図書館「斑鳩町子ども読書活動推進計画」 関連の実績（平成 21・26 年度統計）……………	26
附属資料 4	町立図書館から小・中学校、幼稚園、保育園への絵本・ 図書等の集配記録……………	27
附属資料 5	町立図書館「絵本講座」開催の記録……………	28
附属資料 6	アンケート集計結果① 小・中学校……………	29
	アンケート集計結果② 幼稚園・保育園……………	31
	アンケート集計結果③ 地域読書グループ……………	33